

日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) 南房総陸上局 開所記念式典

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林春男）は、平成 23 年度から文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の整備」事業を実施しております（参考）。

S-net の敷設工事は平成 25 年度に南房総市から始まり、その後も各海域に観測網の整備を続けて参りました。このたびは、地域の皆様のご協力を賜り、南房総陸上局の整備が完了し、データが取得できる運びとなりましたので、それに伴い、平成 28 年 3 月 23 日（水）に白浜フローラルホール（千葉県南房総市）にて S-net 南房総陸上局開所記念式典を下記のとおり開催します。

1. 日時：平成 28 年 3 月 23 日（水）
14:00～14:30
2. 会場：白浜フローラルホール
（千葉県南房総市白浜町滝口 6767-1）
3. 対象：報道機関・研究機関・関係者の皆様
なお、取材を希望される場合は、お手数ですが、別添の「プレスご回答用紙」にて **防災科学技術研究所アウトリーチグループ** へ 3 月 18 日（金）までにメール或いは F A X でお申し込みください。
4. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、千葉県政記者会、南房総市記者クラブ

※ご希望の方は開所記念式典終了後に S-net 南房総陸上局（旧 長尾小学校敷地内：千葉県南房総市白浜町滝口 5185-2）を見学いただくことも可能です。また、白浜フローラルホールから南房総陸上局までの送迎バスがあります。なお、陸上局内部は大変狭くなっておりますので、参加人数によってはお待ちいただく場合がございます。

日本海溝海底地震津波観測網（S-net） 南房総陸上局 開所記念式典

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林春男）は、平成23年度から文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の整備」事業を実施しております（参考）。

S-netの敷設工事は平成25年度に南房総市から始まり、その後も各海域に観測網の整備を続けて参りました。このたびは、地域の皆様のご協力を賜り、南房総陸上局の整備が完了し、データが取得できる運びとなりましたので、それに伴い、平成28年3月23日（水）に白浜フローラルホール（千葉県南房総市）にてS-net南房総陸上局開所記念式典を下記のとおり開催します。

プログラム

日時：平成28年3月23日（水）14:00～14:30

会場：白浜フローラルホール（千葉県南房総市白浜町滝口6767-1）

スケジュール：

14:00 - 14:05	開会挨拶	理事長	林 春男
14:05 - 14:10	来賓挨拶	文部科学省	
14:10 - 14:15	来賓挨拶	千葉県	
14:15 - 14:20	来賓挨拶	南房総市	
14:20 - 14:30	事業説明	海底地震津波観測網整備推進室長	金沢 敏彦
14:30	閉会		

※ご希望の方は開所記念式典終了後にS-net南房総陸上局（旧長尾小学校敷地内：千葉県南房総市白浜町滝口5185-2）を見学いただくことも可能です。また、白浜フローラルホールから南房総陸上局までの送迎バスがあります。なお、陸上局内部は大変狭くなっておりますので、参加人数によってはお待ちいただく場合がございます。

参加申込み 取材を希望される場合は、お手数ですが、別添の「プレスご回答用紙」にて**防災科学技術研究所アウトリーチグループ**へ3月18日（金）までにメール或いはFAXでお申し込みください。

会場へのアクセス

電車：JR内房線館山駅より安房白浜行きバス、白浜フローラルホール前下車

車：富津館山自動車道富浦ICより白浜方面30分

日本海溝海底地震津波観測網「S-net」とは

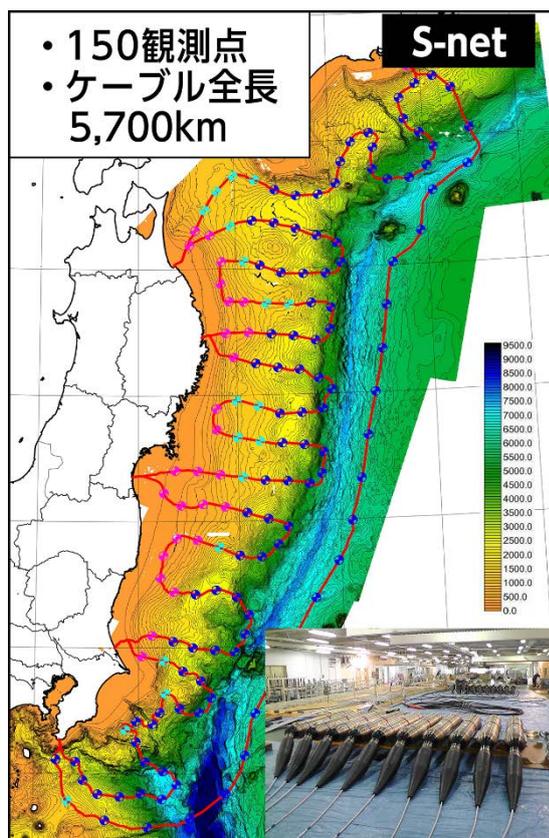


図1 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net)

1. はじめに

国立研究開発法人防災科学技術研究所は、平成23年度から文部科学省地球観測システム研究開発費補助金による「日本海溝海底地震津波観測網の整備」事業により、東北地方の日本海溝・千島海溝南部に沿ってケーブル式地震計・津波計から成る観測点を高密度に配備し、リアルタイムの連続観測を行う、海底地震と津波の観測網整備事業を実施しています。

「S-net (エスネット)」という名称は、日本海溝海底地震津波観測網の英語名称、

Seafloor observation Network for earthquakes and tsunamis along the Japan Trench

の頭文字 S、n、e、t をとったものです。この名称が広く親しみを持って呼んで頂けるよう、運用に向けて整備を続けています。

S-net 整備事業 HP

<http://www.bosai.go.jp/inline/>

2. 観測網の概要

観測網は観測装置と海底ケーブル及び陸上局から成り、太平洋沖の5つの海域 (S1:房総沖 S2:茨城・福島沖 S3:宮城・岩手沖 S4:三陸沖北部 S5:釧路・青森沖) と日本海溝の S6:海溝軸外側 (アウターライズ) の計6海域の150カ所に観測点を順次整備予定です (図1)。

観測装置は地震計 (速度計、加速度計) と津波計 (水圧計) 等で構成され、水深8,000mまで設置可能な耐圧容器に収納されています (図2)。

各観測点のデータは光ファイバー海底ケーブルで2つの陸上局に双方向伝送され、さらにそこから地上通信回線網で防災科学技術研究所や気象庁等の関係機関に送信されます。

これにより地震と津波のリアルタイム・連続観測、

監視が可能となります。海溝型地震や津波を直接検知し、精度の高い迅速な情報伝達を行なうことで緊急地震速報や津波即時予測の高度化などに貢献します。



図2 観測装置の外観と内部模式図

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

アウトリーチグループ 行き

メール : toiwase@bosai.go.jp

FAX : 029-851-1622

プレスご回答用紙

お手数ながら3月18日（金）までにご回答お願い申し上げます

件名 : 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net)
南房総陸上局 開所記念式典

1. 御社名 : _____
2. 御所属 : _____
3. ふりがな 御名前 : _____
4. 人 数 : _____
5. 御連絡先 : (TEL) _____
(FAX) _____
(e-mail) _____
6. 陸上局見学を 希望する 希望しない
_____ (どちらかに○をつけること)
7. その他 _____